

学 位 論 文 要 旨

氏名： 孫 蓮 叶

題目：

農村労働力流動による非農業就業および農業生産に係わる社会経済的環境改善に関する研究
—中国西安市における農村地域を事例として—

(A Study on the Socio-economic Environmental Improvement in relation to the Non-farm Employment and Agricultural Production which under the Rural Labor Mobility Background—A Case Study in Rural Areas of Xi'an, China—)

本研究は、主に現地調査を通じて、「四重経済」流動構造下で中国農村労働力の非農業就業および農業生産に係わる問題点を考察するとともに、農村労働力の社会経済的環境の改善を図ることを提議する目的としている。すなわち、①農村労働力の非正規就業問題、②郷鎮企業の雇用低迷問題、③家族経営下での農業生産と兼業労働との関係問題、④農業機械動力と労働力の低い代替性、⑤農業機械化と農業生産組織の役割、そして⑥農村労働力就業による社会経済的環境の改善を研究課題として展開し、その実態を明らかにすることである。また、中国では 13 億人の総人口の中、4.7 億人の農村労働力の就業問題の解決および農業近代化に向けての農業機械化の発展を図るためには、農村労働力の社会経済的環境の改善案を提示することを試みる。

本研究は序章と終章を含めて 8 章から構成されている。

序章「研究課題と構成」では、第 1 に、研究背景として「四重経済」構造下における農村労働力流動による非農業就業および農業生産の状況を概観し、農村労働力の就業と生活の厳しさおよび農業生産にもたらしたマイナスの影響を指摘した。人口の都市への集中、伝統的な農民から関連産業に従事する産業労働者への転換及び機械化農業生産の実現を目的として、「四重経済」構造下における農村の労働力流動により、農家の非農業就業化及び農業機械化に関する研究の必要性を提起した。

第 2 に、以上の研究背景と問題意識の下で、既往研究の成果に基づいて本研究の位置づけと課題を整理した。農村労働力流動や農業生産に関する既往研究は「二重経済」構造下での社会問題、文化問題、政策問題などの視点からの研究が多いが、「四重経済」構造に立ち入り、労働市場、企業、農家を研究対象としての実態から農家の非農業就業問題、農業機械化問題についての研究は見られない。本研究は、生産関数、費用関数、数量化理論等の手法を用いて、郷鎮企業の経営状態と雇用、家族経営における農業生産と兼業労働に及ぼす影響諸要素、農業機械動力と労働力の代替効果について分析することによって、農村労働力の非農業就業と農業生産の問題点と課題を明らかにした。

第 1 章「農村労働力の流動と非正規就業の実態」では、「四重経済」構造下における農村での労働力流動と都市での出稼ぎ労働を取り上げ、中国農村労働力の流動方向と流動プロセスを明らかにすることによって、農村労働力の都市での非正規就業実態を把握することで、社会ネットワークの依存性を指摘した。また、私営内装企業の調査を通じて都市のインフォーマルセクターにおける「包工頭」下の請負労働の構造および出稼ぎの生活実態を明らかにした。

第 2 章「郷鎮企業の生産関数と雇用低迷の規定要因」では、コブ＝ダグラス型生産関数と CES 型生産関数を用いて、郷鎮企業の生産関数を観察したうえで、現在の郷鎮企業の雇用効果を評価し、その雇用低迷の要因を解明した。また、実態調査による内陸部における郷鎮企業の雇用実態についても明らかにした。

第 3 章「都市近郊農家の農業生産と兼業労働の実態」では、兼業労働と農業生産の相互関係の下で家族経営を考察することによって、農業経営の零細性と農業従事者の質に関する問題点を指摘した。農家の労働形態と兼業状況、農家当たり農業生産と兼業労働に関する回帰分析で、実態調査による内陸部都市近郊の農業生産と兼業労働の実態について、兼業労働が農業生産に及ぼしている影響を明らかにした。

第 4 章「農業機械動力と労働力の代替効果に関する実証分析」では、農業近代化の進捗状況を明らかにするために、農業機械と労働力の代替効果について理論的分析を行うとともに、限界代替率を計測することによって、中国農業機械化の進展および農業機械動力と労働力の代替効果を明らかにした。また、各省の農業機械動力と労働力との代替の有効性について考察した。

第 5 章「中国の農業機械化と農業生産組織の役割」では、まず中国農業機械化の現状を概観し、その影響要因を明らかにした。また、中国農業生産組織誕生の経緯を通じて農業機械専門合作社の役割を解明し、更に、中国内陸部都市近郊の西安市農業機械専門合作社を事例として農業機械化の進展による農村余剰労働力流動の促進、そして、有能な農業従事者及び農業経営者の農業部門への吸収及びその拡大の可能性について把握した。

第 6 章「農村労働力就業の社会経済的環境改善の課題」では、農村労働力の非農業就業および農業機械化生産を促進するために、農村労働力就業の社会経済的環境の改善を呼びかけ、第 1～5 章の結論を基に、農村労働力の社会経済的環境改善の課題を明らかにした。更に農村労働力の非農業就業行動に伴う社会経済的問題に配慮しながら、農民自身の意識転換及び政府の役割の面から農村の城鎮化・都市化を通じて以下の 3 点において、農村労働力就業構造の転換、職業仲介組織の規範化から、農村労働力の農業労働および非農業就業の社会経済的環境改善案を策定した。

第 1 に、農村では農村の城鎮化から城鎮の都市化、更に都市の近代化という発展路線に沿って、農村労働力就業、生活、教育などに関する社会経済的環境問題の解決が可能となる。

第 2 に、中国の社会政策が残した「負の遺産」により農村労働者自身の問題が深刻化している。知識と技能の教育研修だけでなく、新たな思想と考え方、価値観の社会教育も必要である。

第 3 に、全国の各地域をカバーしている NPO 職業仲介ネットワークセンターの役割は農村労働力だけでなく、すべての中国の労働者に対応していると考えられる。社会経済の近代化を目指すとともに、労働者自身の素質向上及びテンポもその近代化に追いつく必要がある。

以上、本研究に関する農村労働力の非正規就業化、郷鎮企業の雇用低迷、農業機械動力と労働力の低い代替性、中国農業機械化の立ち遅れ、農業機械専門合作社の役割機能および既往研究の成果に依拠しながら、農村城鎮化建設を通じて、職業仲介組織の規範化の面から農村労働力の農業生産および非農業就業の社会経済的環境改善案を構築した。

終章「結論と今後の研究方向」では、本研究の課題と位置づけを明示し、序章から第 6 章までの課題、研究成果を示している。更に、各章の残された課題を筆者の今後の研究方向として指摘し、本研究を締めくくっている。